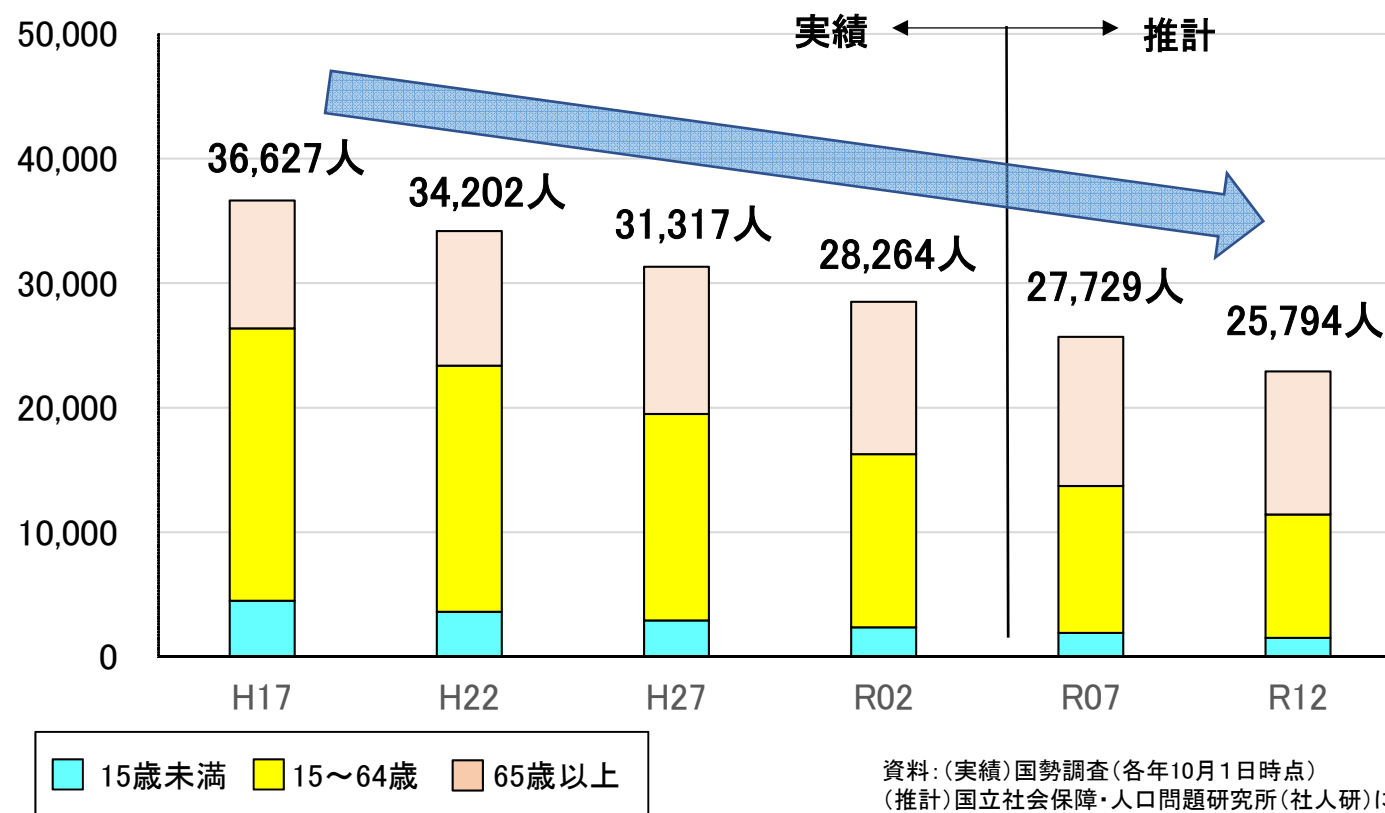


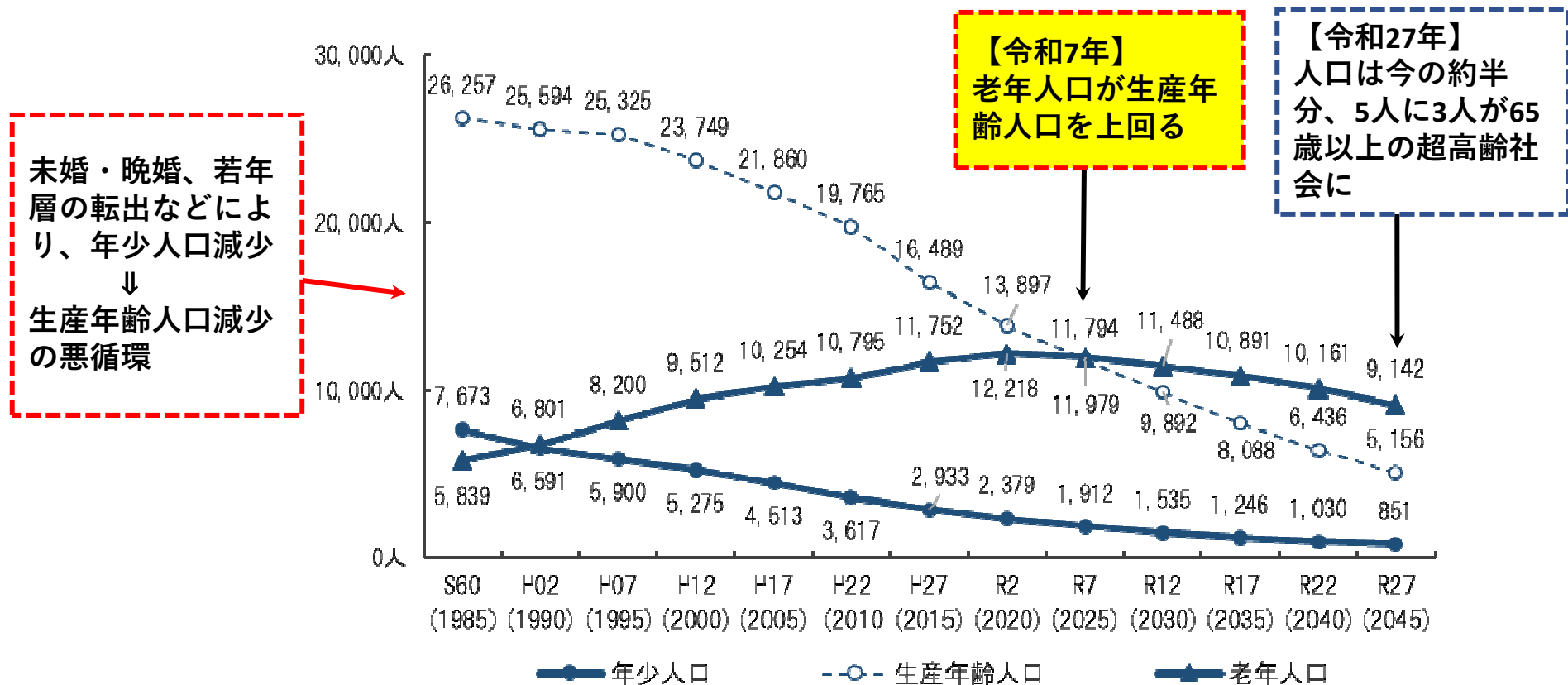
移住者をさらに 呼び込むために

伊豆市の人口は、**減少**が続いている。



伊豆市の人口推移と人口構造

- ・令和7年に老年人口が生産年齢人口を上回る。
- ・令和27年には、人口の3/5が65歳以上の超高齢社会になる。



※年少人口 ・ ・ ・ 0-14歳
生産年齢人口 ・ ・ ・ 15-64歳
老年人口 ・ ・ ・ 65歳以上

資料: 国勢調査(各年10月1日時点)
R2以降は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による推計

伊豆市の地区別人口の推移（2017→2022）

- ・市街化調整区域の線引き廃止もあり、**瓜生野**、**牧之郷**は過去5年で人口が増加。
- ・旧4町別に人口増減をみると、**修善寺地区5.5%減**、**中伊豆地区7.6%減**、**天城湯ヶ島地区10.8%減**、**土肥地区14.2%減**となっている。

修善寺地区(人口)	2017年4月1日	2022年4月1日	増減(5年) 2017→2022	増減率(5年) 2017→2022
大沢	160	133	-27	-16.9
堀切	160	150	-10	-6.3
山田	48	43	-5	-10.4
龍坂	1,376	1,345	-31	-2.3
瓜生野	388	431	43	11.1
横瀬	454	418	-36	-7.9
大下	154	145	-9	-5.8
半経寺	664	606	-58	-8.7
下神戸	106	85	-21	-19.8
中神戸	278	242	-36	-12.9
上神戸	73	52	-21	-28.8
小坂	132	124	-8	-6.1
弁天町	42	34	-8	-19.0
小山	192	173	-19	-9.9
南町	88	67	-21	-23.9
本町	14	12	-2	-14.3
遊覧町	40	36	-4	-10.0
桂町	78	66	-12	-15.4
中里	422	349	-73	-17.3
紙谷	238	207	-31	-13.0
北又	160	152	-8	-5.0
湯舟	137	130	-7	-5.1
大平	639	588	-51	-8.0
本立野	999	872	-127	-12.7
小立野	268	255	-13	-4.9
日向	357	312	-45	-12.6
加殿	565	544	-21	-3.7
田代	124	115	-9	-7.3
奥野	5	5	0	0.0
牧之郷	1,857	1,882	25	1.3
駅前	1,426	1,373	-53	-3.7
柏久保	1,002	965	-37	-3.7
古川	104	93	-11	-10.6
年川	239	243	4	1.7
大野	666	610	-56	-8.4
ニュータウン	725	727	2	0.3
雇用促進	18	32	14	77.8
藤ヶ平	23	17	-6	-26.1
芝山台	99	87	-12	-12.1
修善寺地区合計	14,525	13,720	-805	-5.5

中伊豆地区(人口)	2017年4月1日	2022年4月1日	増減(5年) 2017→2022	増減率(5年) 2017→2022
地藏堂	208	193	-15	-7.2
原保	393	362	-31	-7.9
菅引	183	160	-23	-12.6
中原戸	96	93	-3	-3.1
戸倉野	202	190	-12	-5.9
姫之湯	148	133	-15	-10.1
貴僧坊	83	75	-8	-9.6
筏場	220	188	-32	-14.5
梶山	131	128	-3	-2.3
城	414	365	-49	-11.8
八幡	1,046	950	-96	-9.2
伊豆平	214	187	-27	-12.6
梅木	326	317	-9	-2.8
宮上	103	96	-7	-6.8
柳瀬	160	159	-1	-0.6
冷川持越	92	83	-9	-9.8
堰	178	157	-21	-11.8
下尾野	112	103	-9	-8.0
向	72	56	-16	-22.2
大幡野	4	9	5	125.0
沢口	46	38	-8	-17.4
天城高原	117	156	39	33.3
丸野高原	271	252	-19	-7.0
徳永南	132	116	-16	-12.1
徳永東	79	74	-5	-6.3
関野	160	151	-9	-5.6
元村	382	357	-25	-6.5
小川	809	760	-49	-6.1
中伊豆高原	40	32	-8	-20.0
西	156	140	-16	-10.3
清水	247	215	-32	-13.0
上和田	153	129	-24	-15.7
ニューライフ	268	273	5	1.9
中伊豆地区合計	7,245	6,697	-548	-7.6

天城湯ヶ島地区(人口)	2017年4月1日	2022年4月1日	増減(5年) 2017→2022	増減率(5年) 2017→2022
宿	392	325	-67	-17.1
大滝	150	123	-27	-18.0
茅野	222	215	-7	-3.2
長野	142	117	-25	-17.6
西平	320	292	-28	-8.8
金山	96	80	-16	-16.7
持越	66	63	-3	-4.5
市山	498	423	-75	-15.1
門野原	228	199	-29	-12.7
吉奈	171	154	-17	-9.9
月ヶ瀬	485	472	-13	-2.7
田沢	250	211	-39	-15.6
矢熊	151	135	-16	-10.6
新田	110	86	-24	-21.8
本村	209	197	-12	-5.7
下船原	388	346	-42	-10.8
青羽根	685	592	-93	-13.6
本柿木	245	221	-24	-9.8
大平柿木	366	331	-35	-9.6
松ヶ瀬	249	223	-26	-10.4
佐野	338	328	-10	-3.0
雲金	232	200	-32	-13.8
南修善寺グラウンドビレッジ	65	68	3	4.6
天城湯ヶ島地区合計	6,058	5,401	-657	-10.8

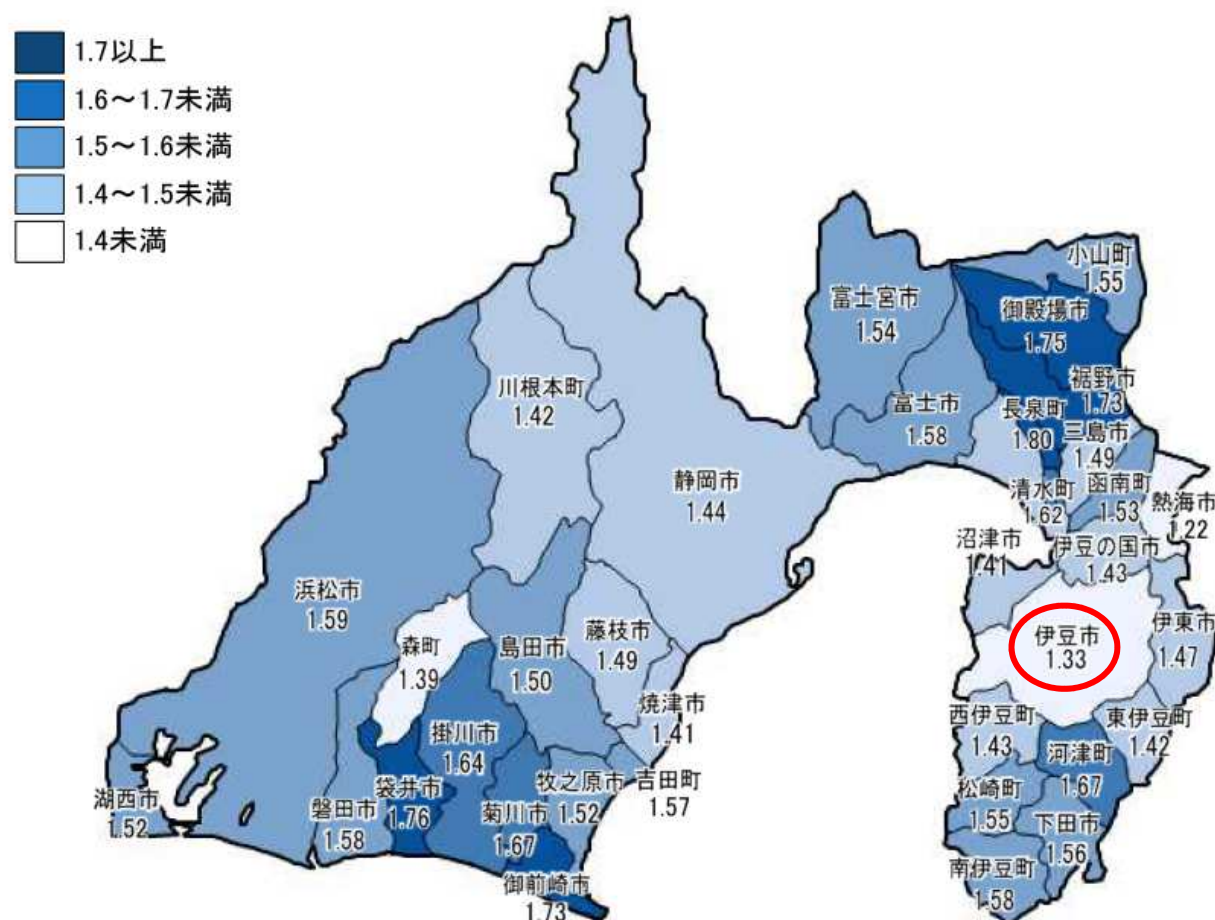
土肥地区(人口)	2017年4月1日	2022年4月1日	増減(5年) 2017→2022	増減率(5年) 2017→2022
大藪	403	329	-74	-18.4
中浜	344	297	-47	-13.7
平野	227	229	2	0.9
屋形	285	254	-31	-10.9
金山	54	44	-10	-18.5
馬場	254	215	-39	-15.4
水口	109	95	-14	-12.8
中村(土肥)	236	204	-32	-13.6
横瀬	88	77	-11	-12.5
天金	62	54	-8	-12.9
新田	93	79	-14	-15.1
土肥団地	57	37	-20	-35.1
平石	9	5	-4	-44.4
浜	100	78	-22	-22.0
黒根	98	87	-11	-11.2
出口	110	90	-20	-18.2
入谷	88	74	-14	-15.9
小池	157	130	-27	-17.2
松原	108	96	-12	-11.1
西浜	180	141	-39	-21.7
上野	80	70	-10	-12.5
中島	44	42	-2	-4.5
長藤	50	44	-6	-12.0
大久保	100	89	-11	-11.0
下村	181	156	-25	-13.8
中村(小下田)	72	60	-12	-16.7
大木山	33	23	-10	-30.3
菅沼	54	54	0	0.0
坂ノ上	12	11	-1	-8.3
米崎	28	25	-3	-10.7
小峰	44	38	-6	-13.6
藤沢	37	32	-5	-13.5
土肥地区合計	3,797	3,259	-538	-14.2

伊豆市(人口)	2017年4月1日	2022年4月1日	増減(5年) 2017→2022	増減率(5年) 2017→2022
伊豆市合計	31,625	29,077	-2,548	-8.1

伊豆市の合計特殊出生率

■静岡県 市町別合計特殊出生率[H25～H29]

「伊豆市は1.33と県内ワースト2位」



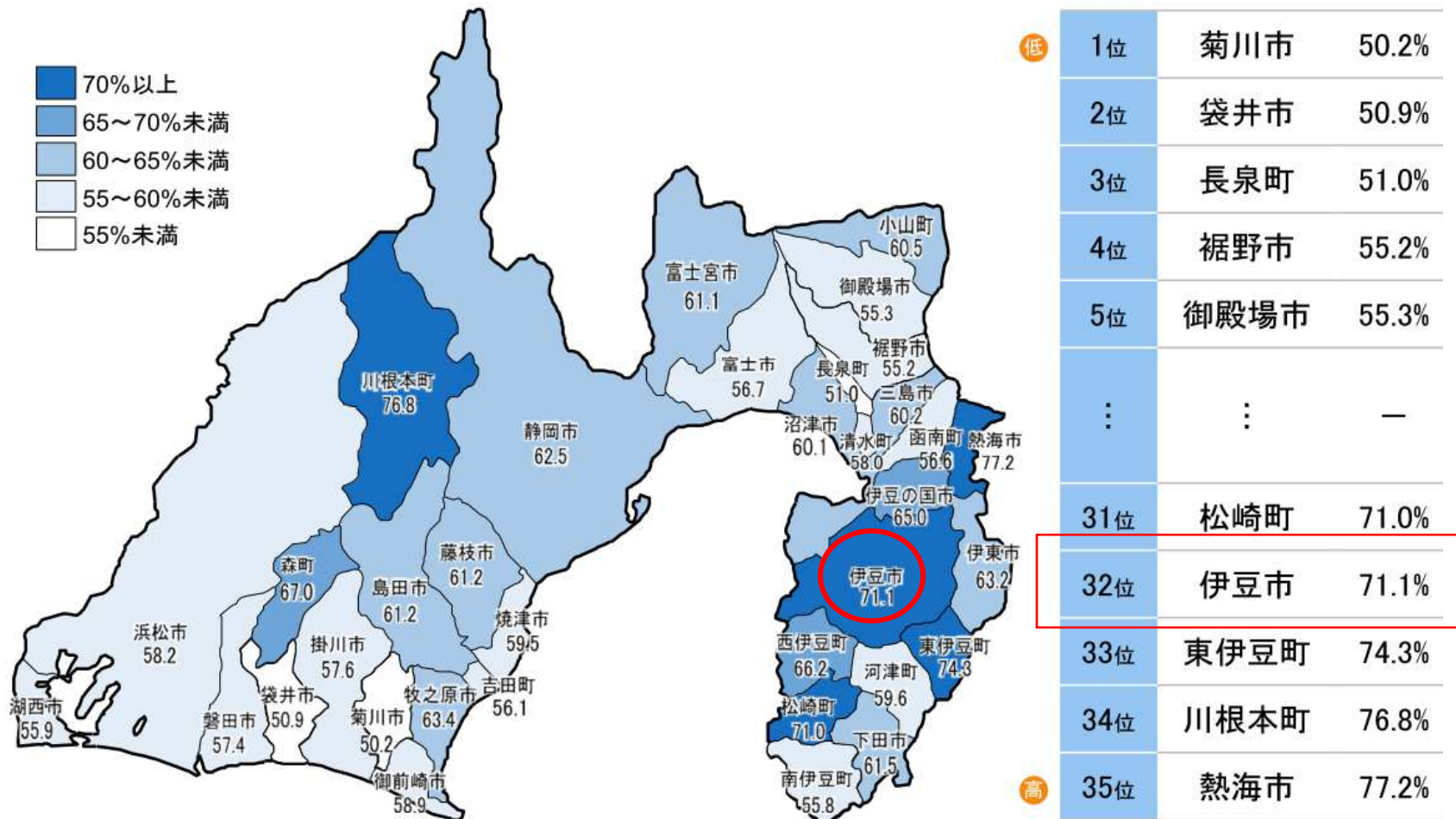
1位	長泉町	1.80
2位	袋井市	1.76
3位	御殿場市	1.75
4位	裾野市	1.73
4位	御前崎市	1.73
⋮	⋮	—
31位	沼津市	1.41
31位	焼津市	1.41
33位	森町	1.39
34位	伊豆市	1.33
35位	熱海市	1.22

〔出所〕厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

伊豆市の女性未婚率 [25歳～29歳](令和2年)



- ・伊豆市の女性未婚率は**71.1**と**県内ワースト4位**。
- ・少子化対策のためには未婚解消が鍵となる。



〔出所〕総務省「令和2年国勢調査」
※未婚率は、配偶関係不詳を除く人口を分母としている。

※なお、男性未婚率 [30歳～34歳](令和2年)伊豆市は61.5と県内ワースト7位

- ・自然動態は悪化、しかし社会動態は近年改善傾向にある。

【人口動態】

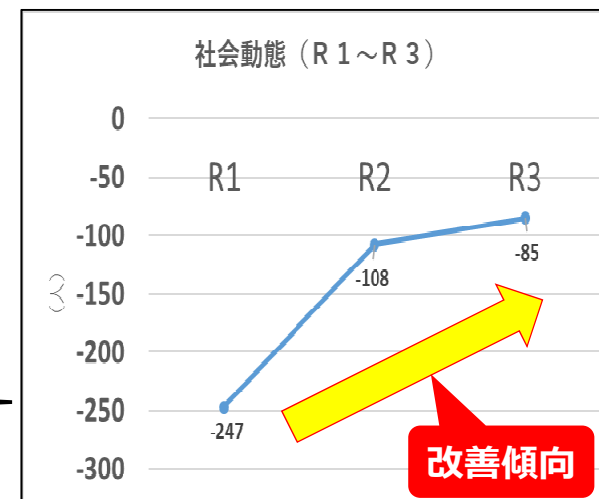
(出生数－死亡数) + (転入数－転出数)

自然動態

年度	自然動態		
	出生	死亡	増減
H27	142	506	▲364
H28	120	465	▲345
H29	126	497	▲371
H30	122	464	▲342
R1	101	496	▲395
R2	125	489	▲364
R3	107	524	▲417

社会動態

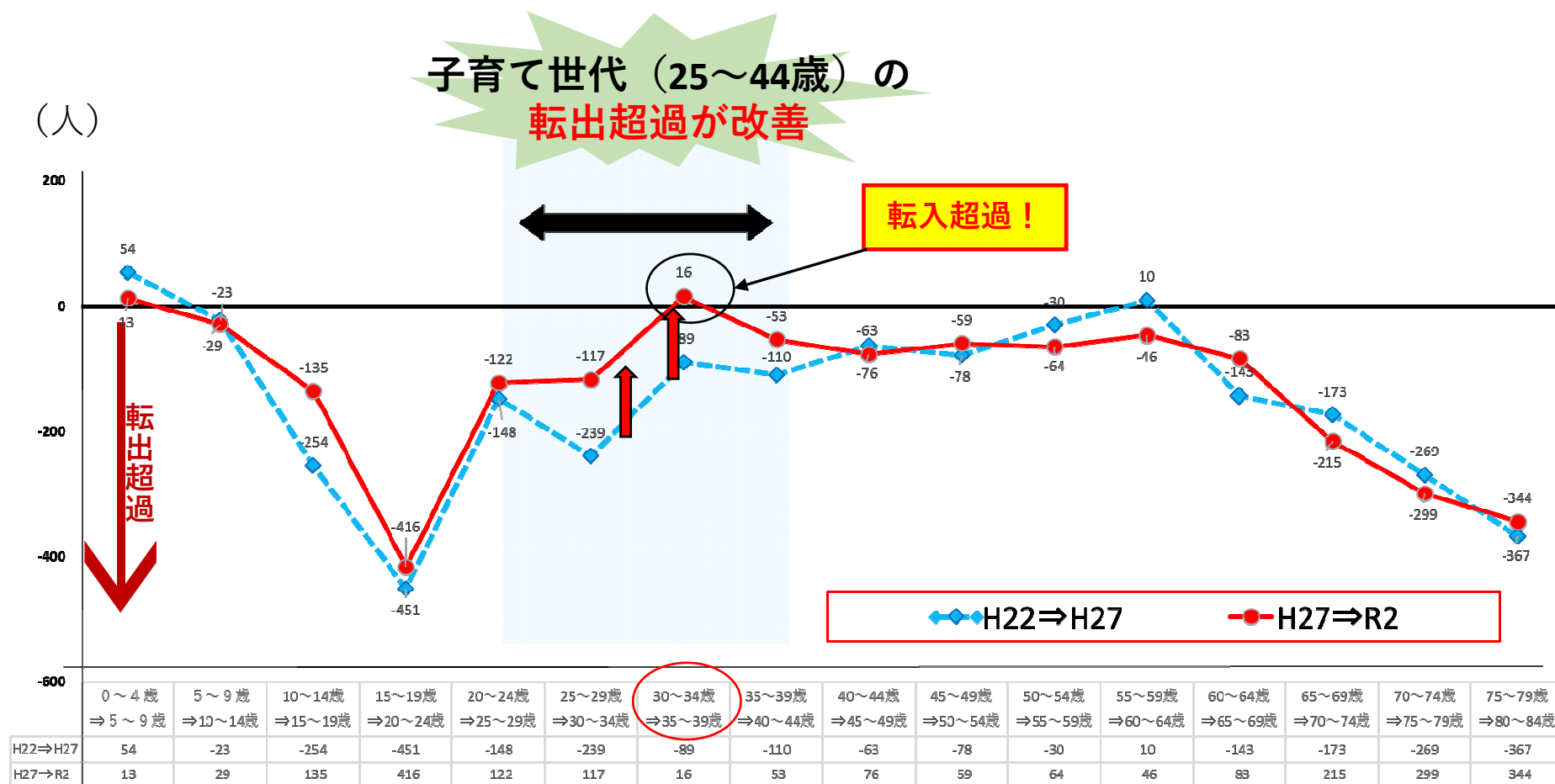
年度	社会動態		
	転入	転出	増減
H27	1,017	1,261	▲244
H28	1,083	1,183	▲100
H29	1,021	1,186	▲165
H30	1,093	1,162	▲69
R1	1,031	1,278	▲247
R2	1,004	1,112	▲108
R3	937	1,022	▲85



R4出生予定 77人
※R4.10月時点

伊豆市の年齢でみる人口増減

- ・25歳～44歳の子育て世代の転出超過が改善されている。
- ・特に**35歳～39歳の年代は転入超過**となっている。
→移住者支援などの対策により一定の効果があったものと判断。



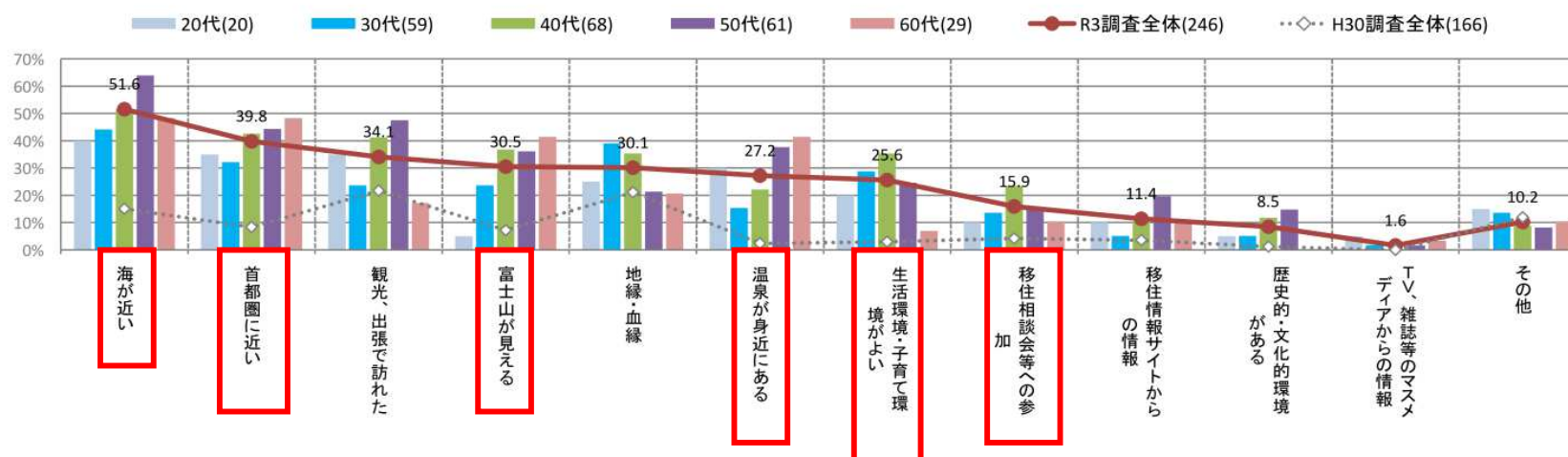
静岡県内への移住者ニーズ①

- ・静岡県内への移住に興味を持ったきっかけについては、「海が近い」「首都圏に近い」「富士山が見える」などが上位となっており、伊豆市は全て満足している。
- ・移住を検討する上での大きな課題は、「住まい」である。

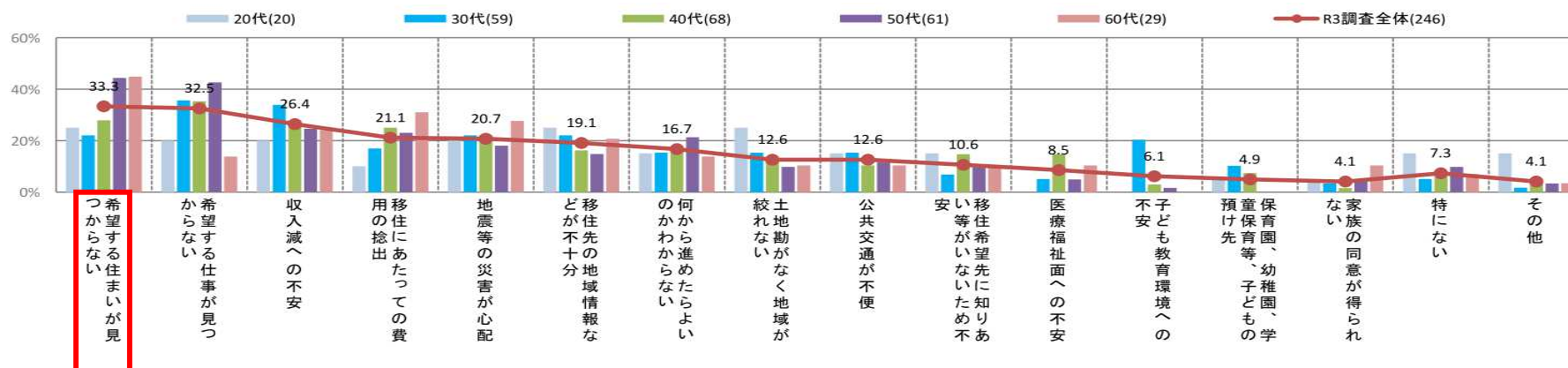
調査対象：静岡県内への移住者（N:120人）・移住検討者（N:126人） 出典：「ゆとりすと静岡」令和3年度 静岡県への移住に関する調査

Q13 静岡県への移住に興味を持ったきっかけ ※複数回答可

※H30年度調査では単一回答→今回調査では複数回答。



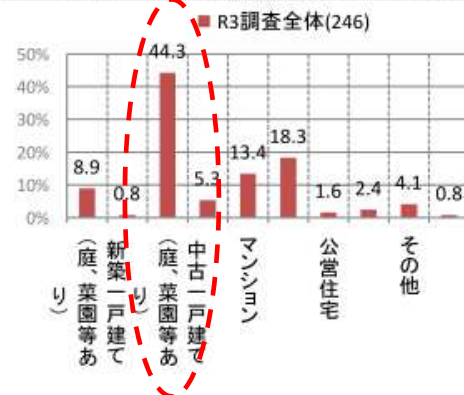
Q15 静岡県への移住を検討する上での課題



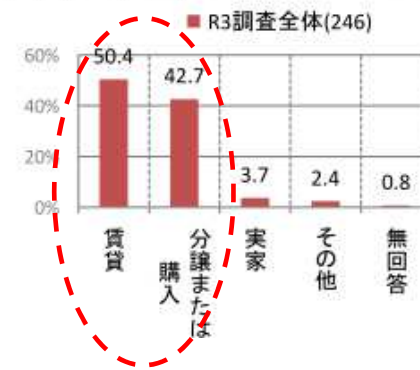
静岡県内への移住者ニーズ②

- ・移住後の住居ニーズは「**中古一戸建て(庭あり)**」44.3%が高く、所有形態は「**賃貸**」50.4%、「**購入**」42.7%である。
- ・「**自然豊かな環境**」を求めて移住する方が61.0%と高い。

Q7 移住後の住居形態



Q8 移住後の住居の所有形態



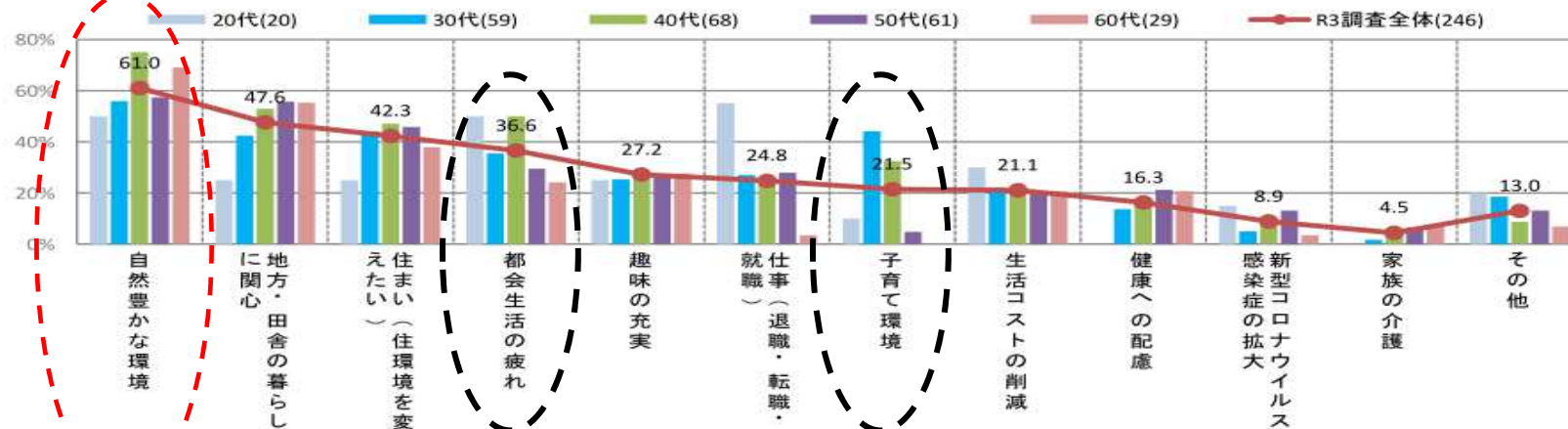
出典：「ゆとりすと静岡」令和3年度 静岡県への移住に関する調査

調査対象：静岡県内への移住者 (N:120人) ・ 移住検討者 (N:126人)

【移住者のコメント「定住のために必要な支援」】

- ・県外からの移住では**まず賃貸住宅に住んだ後、数年後に住宅購入する**現実的なスキームを助成する仕組みがあると移住者が増えると思う。
- ・実際は空き家が多いのに、物件情報が非常に少ない。

Q9 移住を考えた動機 ※複数回答可

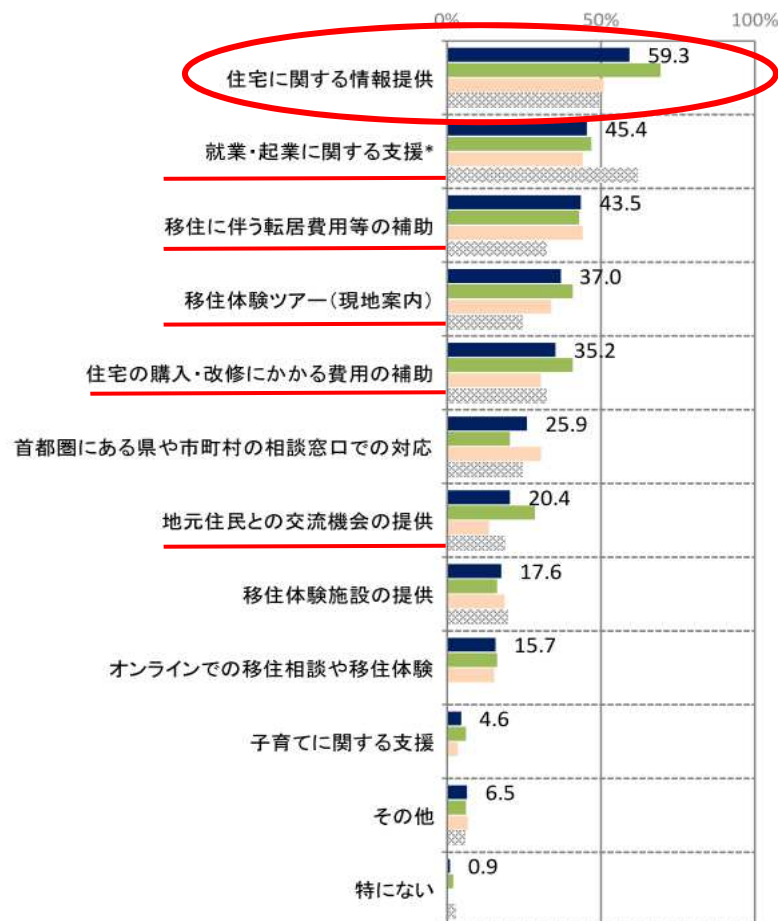


静岡県内への移住者ニーズ③

・移住者が求める支援策は「住宅に関する情報提供」が59.3%と高く、住宅の確保が移住のコントロールポイントとなっている。

Q16 求める支援策（※移住の可能性が高まる）※複数回答可

■ R3移住検討者・計画停滞者(108) ■ 移住検討者(49)
 ■ 移住計画停滞者(59) ■ H30移住検討者・計画停滞者(102)



出典：「ゆとりすと静岡」令和3年度 静岡県への移住に関する調査

調査対象：静岡県内への移住者（N:120人）・移住検討者（N:126人）

Q17 移住検討において、困っていること／進まない理由（※抜粋）

【仕事・収入・資金の不安】 42件

- ・現状の仕事を辞めて、移住しようと考えていますが、会社がなかなか辞めるにあたって、いい返事が返ってこない。（移住検討者／男50代）
- ・移住後のバイト就職先がシニアの場合求人が少ない。（移住検討者／男60代）
- ・やはり仕事が決まらないので、なかなか難しいです。（移住検討者／女50代）
- ・仕事が見つからないことです。観光業が多く、観光業、サービス業は希望していないのでなかなか見つかりません。実際に面接へ行きましたが、どちらも観光業でしたが、やはり懸念したため辞退した過去があります。（移住計画停滞者／男30代）
- ・現職を続けるか、移住に伴い転職（起業含む）するかの検討が進まない。特にコロナ関係で、安易に現職を退職すべきではなくなってきたのも要因となっている。（移住計画停滞者／男50代）
- ・移住後も現在の仕事をテレワーク等で継続できるかどうか不透明なので。（移住計画停滞者／女50代）

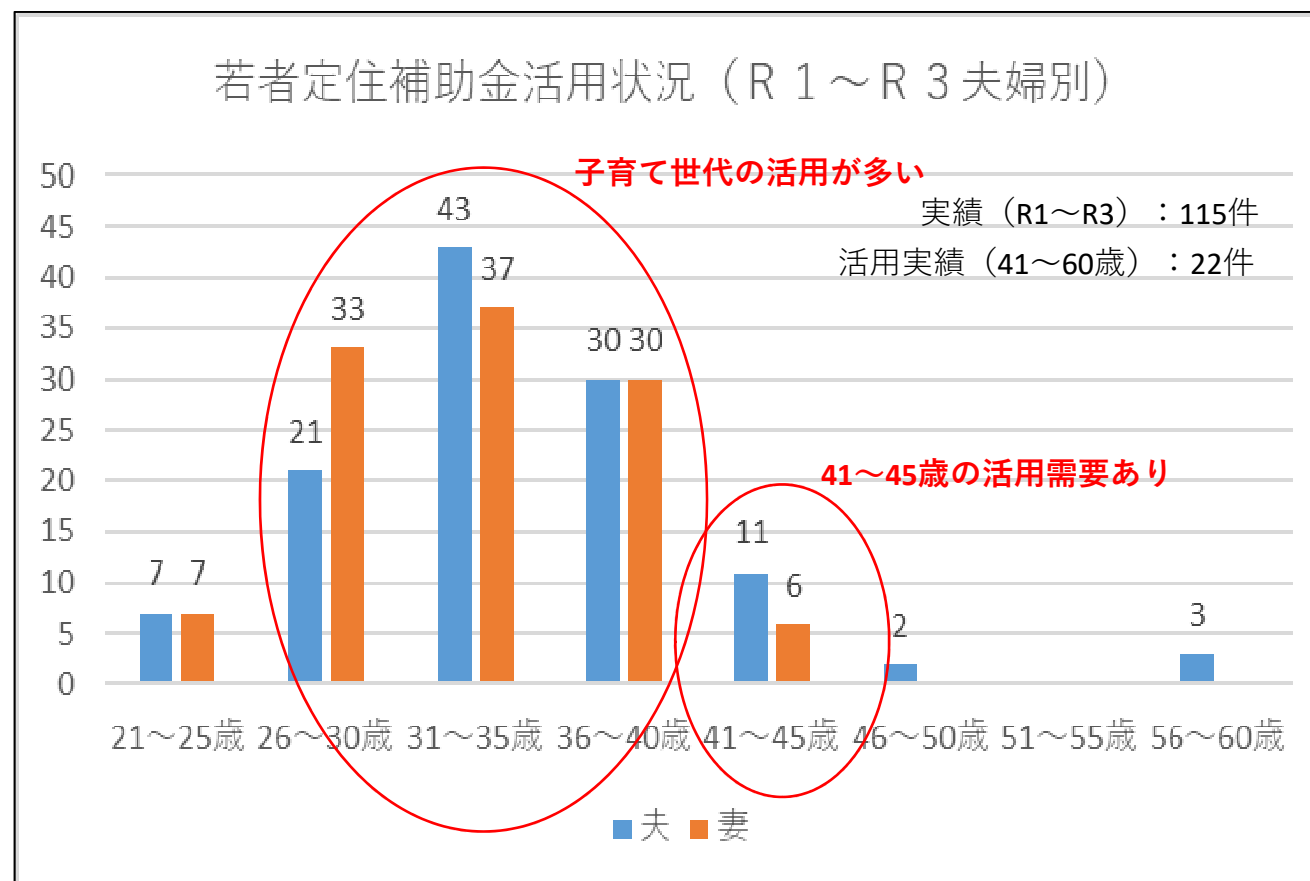
【住宅の確保】 26件

- ・現在の年齢から、静岡県内での賃貸住宅を借りる条件が厳しくて、借りる事が難しい（年齢・単身・保証人など）。（移住検討者／男50代）
- ・仕事は静岡I Uターン就職支援センターで相談できているが、住居探しに不安がある。（移住検討者／女40代）
- ・公共交通機関と住まいの関係がわからず絞りきれない。（移住検討者／女50代）
- ・希望の賃貸が見つからない（移住計画停滞者／女50代）

伊豆市の移住者への支援① ～若者定住補助金～

- ・移住定住施策のうち、若者定住補助金（住宅補助）が最も活用されており、**R1～R3実績は115件**。
- ・30代前半を中心とした子育て世代の活用が多い。
- ・夫婦のいずれかが40歳を越える申請が19%（22/115件）あり、**対象年齢の拡大**が更なる移住定住の促進につながる可能性がある。

補助要件：夫婦いずれかが満40歳以下の世帯であること



伊豆市の移住者への支援② ～お試し住宅～

- ・令和元年度～3年度における活用件数は41件。
→そのうち5人(全体の12%)が伊豆市への移住に結び付いた。
- ・お試し住宅を活用する**73%が30代～50代**となっている。
- ・お試し住宅活用から**移住に結び付く年代は40代**がほとんどである。

【お試し住宅】

- ・伊豆市への移住を検討している方で、市外在中の方に対し短期で滞在できる住宅を提供する。
- ・実際に伊豆市に滞在し、伊豆市の雰囲気や魅力に触れ伊豆市をより知ってもらうことにより移住につなげる。



【利用料】 無料

【期間】 2泊3日～6泊7日

【間取り】 2階建て3LDK×2棟

■実績

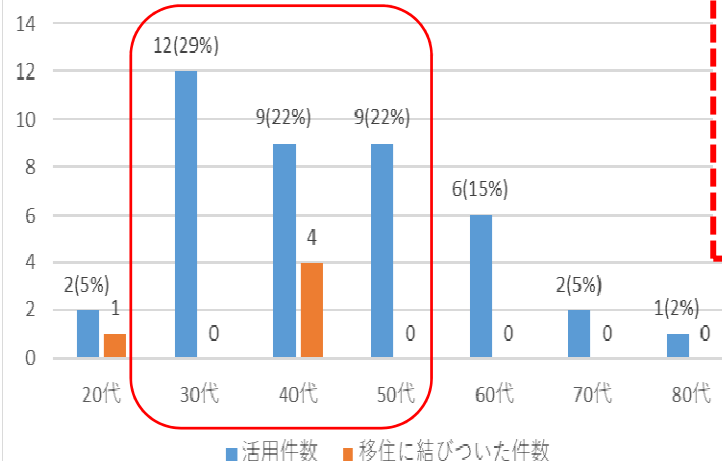
R 1 : 18件 (うち4件移住)

R 2 : 13件 (うち1件移住)

R 3 : 10件 (移住なし)

移住成約率：12%

土肥お試し住宅活用件数と移住件数 (R 1～R 3)

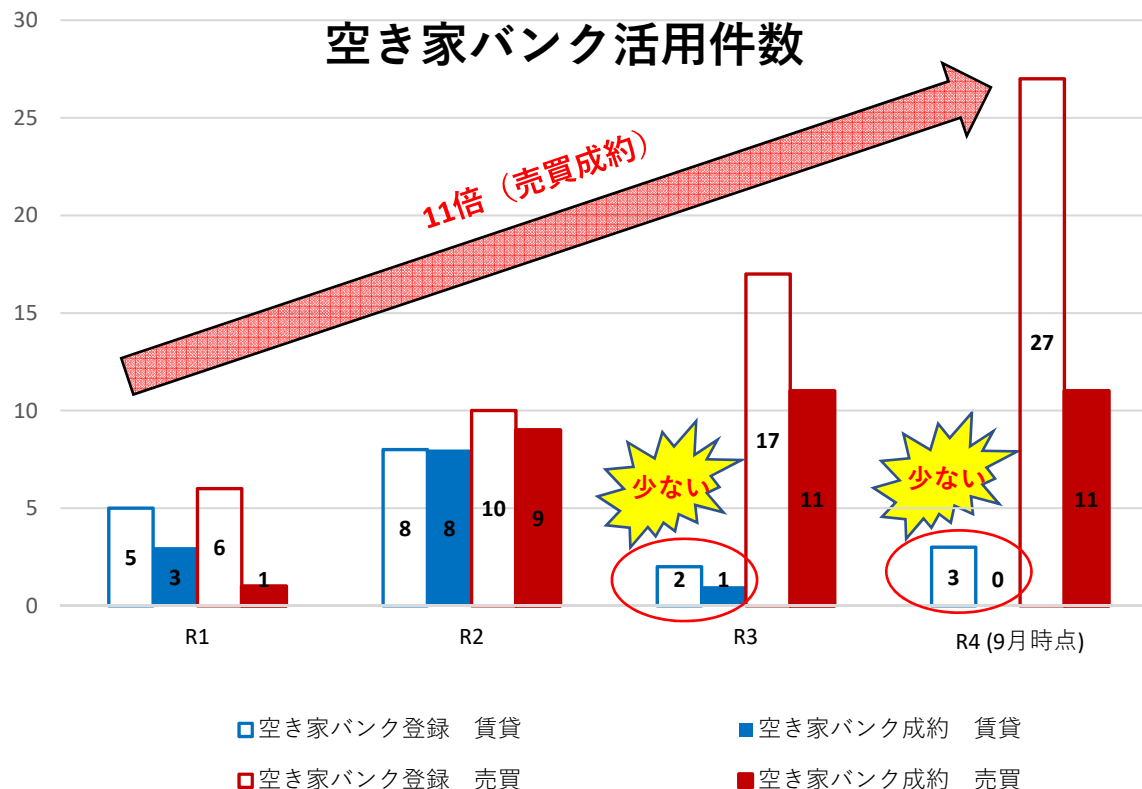


移住につなげる足掛かりとして一定の効果が見込める。
今後「山のお試し住宅」を設定するなど体験の機会を増やしていく予定。

伊豆市の移住者への支援③ ～空き家バンク～

- ・気軽な移住定住につなげるための賃貸物件が少ないことが課題。
- ・原因のひとつとして「空き家を貸したいが、知らない人に貸すことに抵抗がある。」という声が多い。

この課題を解決することが
空き家の登録数の増につながるが、難しい...



移住に際し、いきなり住宅購入はハードルが高い。まずは、賃貸住宅で住んでみるステップを提供することが必要。

お試し住宅

賃貸住宅

住宅購入

移住ステップ

伊豆市の移住者への支援④ 移住コネクター

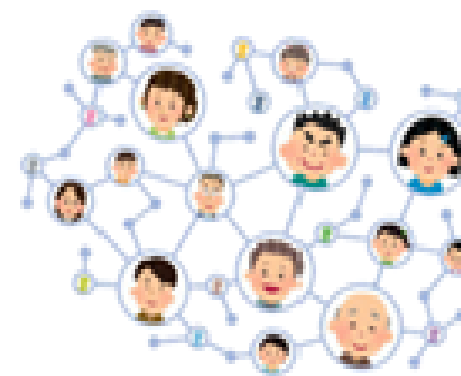


■移住者への支援状況 ～伊豆市とあなたをつなぐ「Izu you Connector(移住コネクター)」～

- 【Izu you Connector（移住コネクター）】※23名(令和4年10月末時点)
- ・令和4年度から発足し、先輩移住者を中心に構成し、移住希望者に自らの体験談やリアルな暮らしの情報を届ける。
 - ・空き家物件と移住希望者のマッチング支援を行うなど、様々な面で伊豆市と移住希望者をつなぐ取り組みを行う。

～伊豆市とあなたをつなぐ～

移 住
Izu you Connector



設置の目的

伊豆市への移住・定住の促進を目的に、移住希望者や移住者に対し移住の体験談やリアルな暮らしの情報の発信、移住相談の親身な対応等により、伊豆市（Izu）と移住希望者（you）をつなぐ（Connect）『Izu you Connector』を設置します。

移住コネクターの関わり方

移住希望者



まずはざっくり相談

- ・ 移住情報センター9izu
 - ・ 移住相談会（東京、伊豆）
 - ・ 移住パンフレットでの案内
- 移住コネクター参画



さらにがっちり相談したい

移住コネクター



夫婦子育て
飲食店



夫婦
アウトドア



単身
協力隊



夫婦子育て
ゲストハウス



単身
二拠点



単身
Uターン



夫婦子育て
お嫁さん

さまざまなジャンルの人から自分に近い人へ直接相談

相談方法は移住パンフ、HP、SNS等で紹介（現在準備中）